

コロナ禍で注目される新しいビジネス活動「オンライン展示会」

新型コロナウイルス感染症の拡大でリアル展示会が開催できなくなったことをきっかけに注目され始めた「オンライン展示会」。徐々に社会経済活動が戻りつつある中、最近ではリアル展示会を再び開催すると同時に、オンライン展示会を平行して開催するイベントや企業も多くなってきています。

■ オンライン展示会とは

「オンライン展示会」とはその名の通り**オンライン（Web）上で開催される展示会**のことで、「Web展示会」や「バーチャル展示会」とも呼ばれます。オンライン上に3DCGで再現された会場へアバターで来場する本物そっくりな展示会のほか、360°画像ブースや2Dブースに展示された映像や画像などのWebコンテンツを閲覧できる展示会、ウェビナーやAR、電子カタログを使った展示など、自社が利用するシステムによってその展示コンテンツは様々です。中にはそのままWeb会議などを通じ商談ができる機能を兼ね備えたプラットフォームも存在します。



■ 「自社開催型」か「合同出典型」か

オンライン展示会の開催方法には大きく分けて2種類あります。

「自社開催型」はその名の通り自社単独でオンライン展示会ブースを作成し開催します。企画から展示内容、デザイン等全てを自由に決められるため、しっかりと自社の強みやイメージを打ち出しやすく、ブランディングを重視する企業におすすめです。企画からWeb構築、宣伝まで全てを自社で行う必要があり、多大なコストと労力がかかるものの、一度作ったウェビナーや動画、画像などのコンテンツは自社の財産となるため、展示会以外でも活用できます。またノウハウが溜まれば、次回からは少ないコストと労力で展示会を開催できるようになり、中長期的なマーケティング活動に役立ちます。



一方**「合同出典型」**は主催者側が用意したオンライン展示会上で行われます。プラットフォームの提供・宣伝活動は主催者側が行ってくれるため、出展のハードルが低く、ある程度の集客も見込めます。

ただし、利用するプラットフォームによっては展示の自由度が低く思うような自社のアピールができなかったり、競合他社に人が流れてしまったりする可能性があります。どちらかというリード獲得のための単発の施策となるでしょう。



■ オンライン展示会のメリット・デメリット

オンライン展示会のメリットは**「費用が抑えられる」「時間や場所、天候の制約がない」「来場者のデータ取得・分析が可能」「翻訳ソフトで多言語対応可能」といった点が挙げられます。**

オンライン展示会のプラットフォームをサービス提供する企業も増えてきました。料金は構築費数十万～一千万円単位から、月額数万円～数十万円まで様々存在します。自社の展示の規模感や内容に適したプラットフォームを選定する必要があります。またこれまで時間や場所、天候の都合で来られなかった人も参加が可能になり、海外からの来場者も見込めます。来場者はオンライン上で管理しているため、対面ではなかなか取得が難しかった来場者データも取得・分析しアプローチできます。



反面、オンラインで手軽に参加できる分、**獲得したリードの見込は弱い**という状況になりがちです。また展示を自社でゼロから構築するには莫大なコストがかかってしまう、展示会場での声掛けなどによる積極的な営業が難しいといった点もデメリットとして挙げられます。オンライン展示会を開催するには、これらデメリットについても考慮して開催やアフターフォローのスキームを検討していく必要があります。

コロナ禍で一気に注目されるようになったオンライン展示会ですが、アフターコロナにおいても**リアル展示会と平行して開催することにより新たな販路開拓経路**として役立っていくでしょう。

ビジネスにSNSを活用 ～Twitter編～

Twitterは国内月間利用者数4,500万人、テキストメッセージの投稿を主とするSNSで、**拡散性は他のSNSに比べても随一**です。一度爆発的に拡散し始める（バズる）と、凄まじい勢いで情報が拡散されていきますが、その反面良い情報も悪い情報も拡散されてしまうので、「炎上」という状態にもなりやすいリスクがあります。アカウント運用に際しては投稿に際してのコンセプトやルールをきちんと定め、炎上した際の対策まで決めておくと、もしものときも迅速に対処できます。

10代～20代の利用者が中心ですが、30代以上も多く**男女ともに人気**のSNSです。非常に**リアルタイム性に優れている**ので“今なにが流行っているか”という**トレンドの情報収集**などにも有効なSNSです。



Proプロフィール	Twitter広告	Twitterアナリティクス	ショッピング機能
業種や職業をプロフィールでわかりやすく表示、一般アカウントと差別化	タイムラインや検索結果に広告を出稿、表示だけでなくユーザーによる拡散も期待できる	ツイートの統計情報や数値データを集計、反応を分析することで投稿を調整していく	2022年3月時点で米国iPhone版のみ提供。Twitter上で製品を販売できる。いずれは日本でも？

Twitterのビジネス用アカウント（Proアカウント）は個人用からの切り替えになり、**無料**で使用できます。

TKC会員関与先様限定ホームページサービスのご紹介

オンライン決済にも対応！

BEST ホームページ

の「自社制作プラン」(*)は

**初期費用無料！
月額6,050円(税込)が3ヵ月無料！**(*)

(*)「自社制作プラン」は、TKC自計化システム(e21まいスター、FX2、FXクラウドシリーズ)をご利用中の関与先様にご提供しております。TKC自計化システムをご利用でない関与先様へご提供する商品もございますのでお気軽にお問合せください。
(**2)月額費用3ヵ月間無料=お申込みいただいた月の翌月から3ヵ月間無料



動画かんたん掲載

他社との差別化、理解促進・購買促進に効果的

スマートフォン自動対応

レスポンシブデザインで手間なし自動対応



バックアップ機能+常時SSL でセキュリティ万全

過去の編集記録に復元できる機能で安心

「決済機能付きフォーム」で オンライン決済対応

クレジットカード決済にも対応

採用活動に強い

求人情報専門の検索エンジン(*)に
自動連携で応募者獲得をサポート

(*)Indeed、Google じごと検索に連携(2021/4/12現在)

サービスの詳細はサービスサイトでご紹介しております。是非ご確認ください。

サービスサイトURL <https://www.tkc.imobile.co.jp/>



サービスサイト
QRコード

発行：アイ・モバイル株式会社（株式会社TKC関連会社）

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-42-2 VORT外苑前Ⅲビル3階

TEL：03-6743-7950 FAX：0120-937-255

オンライン決済にも対応！BESTホームページ導入サポートダイヤル：0120-957-705

営業時間：9:00～18:00（土日、祝日、年末年始を除く）

URL：<https://www.imobile.co.jp/>

